



三重中央だより

当院の理念(Principle) ●いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。

新年のご挨拶

～新型コロナウイルスとの闘いの中で～

院長 下村 誠



新年あけましておめでとうございます。

2022年は1月に第6波が、7月に第7波が襲来し、三重県でも1日の感染者数が

過去最多の4,600人に達し、累計の感染者は第7波だけで約12万人と過去に類を見ない数になりました。そして11月15日「第8波が始まった」と一見知事が宣言しましたが、この文章が発表される1月初旬、新型コロナウイルスの感染状況はどうなっているのでしょうか？今年こそ新型コロナが終息することを願うばかりです。

当院は国が指定する第2種感染症指定病院で専用の感染症病棟を完備し、平時から結核やインフルエンザ感染患者の治療にあたってきました。今回の新型コロナウイルスパンデミックでは津地区の感染者を受け入れる重点医療機関として2020年1月から2022年11月15日まで約870人（県内で最多）の入院患者を受け入れて治療をしてきました。この中には妊婦が119人含まれ、22件の分娩と23件の帝王切開を行ってきました。分娩や帝王切開では対応する医療者が感染するリスクが非常に高く、当院は県内の感染した妊婦のほとんどを受け入れてきました。新型コロナ感染で最も影響を受けたのは救急医療です。発熱患者をのせた救急車が何件も病院から受け入れを拒否され、津地区は県内で最も救急搬送に時間を要する事態になっていました。そこで当院は第5波以降、津地区のコロナ患者を24時間体制で受け入れながら、一般の救急車もできる限りうけいれる体制を整備してきました。第7波では当院のコロナ病床は一時ほぼ

満床状態が続き、院内感染で2病棟を閉鎖するといった危機的状況に陥りましたが、何とか職員全員が一丸となって津市のコロナ対応と救急医療を死守してきました。この間、近隣の医療機関様には多大なるご支援を頂き地域の連携がいかに重要かを実感いたしました。津および久居一志地区医師会及び県調整本部や保健所、津市、救急隊の皆様のご支援にも心より感謝いたします。

しかしながら、現状の津地区のコロナ対応が十分かという、決して十分とは言えません。第7波だけで県内で高齢者を中心に220人が死亡しました。老健施設で亡くなられた方もみえます。波を重ねるごとにコロナ感染者は爆発的に増えています。第8波ではコロナとインフルエンザの感染が同時発生し、第7波以上の感染者数が予想されています。津地区のコロナ入院患者を今の体制でカバーすることはさらに難しくなりますし、救急医療もさらに混乱すると思います。当院のスタッフは今も、心折れそうになりながらも懸命に新型コロナウイルスと戦っていますし、救急外来では次々に運ばれてくる救急患者に必死に対応しています。5類への移行が議論されているなかで、ひとりでも多くの医療者が、一つでも多くの医療機関がコロナ対応に関わっていただきますようお願いいたします。また地域の住民の皆様におかれましてはマスク会食や十分な換気など基本的感染予防策を徹底していただきますようお願いいたします。当院はこれからも地域から信頼される医療機関となるよう努力していきますので、ご支援とご協力を賜れば幸いです。どうぞよろしくお願いたします。



外来師長 帖佐 須美子

新年あけましておめでとうございます。兎年に生まれ、この度還暦を迎えました。年齢を明らかにするのは恥ずかしいのですが、このような節目の年に御指名頂き、人生を振り返る機会を頂けることをありがたく思っております。

私は小学生の頃に看護師になりたいと考えはじめ、その夢を叶えることができました。三重中央医療センターの前身である、国立津病院に就職したのが21歳の時でした。その時にはこんなに長く働かせて頂くことになるとは予想していませんでしたが、あと1年少しで定年退職を迎えることになりました。

ウサギは寂しいと病気になると言われていますが、兎年の私もそのせいかどうか、誰かと一緒にいないと落ち着きません。幸いにもこの職業を通して、多くの患者様・スタッフとの出会いがありました。たくさんの仲間囲まれ、楽しく過ごすことができた日々感謝です。大切な仲間を得ることができた60年を振り返り、今後の人生後半戦も今の仲間を大切にするとともに新たな出会いも求め、いろんなことに挑戦していきたいと思っております。

現在、外来看護師長をさせていただいておりますが、待ち時間の問題など、ご意見を頂くことも多々あります。私の大好きなこの病院が、より多くの方に「三重中央医療センターがあるから安心」と言って愛していただけよう、今後も努力していきたいと思っております。今年が皆様にとって良い年となりますようお願いしております。



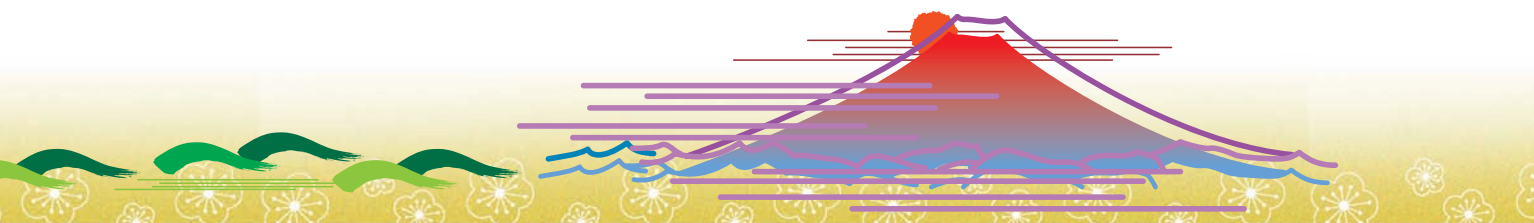
泌尿器科医師 荒瀬 栄樹

新年明けましておめでとうございます。年男ということで、ご挨拶をさせていただきます。

私は、実は幼いころから植物、中でも道端に咲いている草花や花壇に植えられている草木などが好きで、目の回るように忙しい外来業務や緊張が続く手術などで疲弊した時に、癒される存在になっています。

自宅から病院までの道端の植物を観察すると、古来では薬草にしていたものや、昔には見られなかった外来種など、多種多様の植物にお目にかかり、草花辞典なるものやスマホ検索で今まで存じ上げなかった名前が判明すると一人で小躍りしたりしています。植物の世界も競争・攻防が激しく、何気ない空き地で日本在来種と外来種がせめぎ合っているのを見ると、何だかヒトの社会情勢にも似て大変興味深いです。ヒトの体は少しバランスが崩れただけで大事になることも多々経験してきましたが、植物の世界は何のその、とても遅くしたたかさも兼ね備えており、自分も負けていられないと思う次第です。

そこで、今からでも遅くない、体力増進を図るべく、まずラジオ体操を始めることにしました。毎朝行っていると、朝食から食欲が出るし、午前中からのぐったり感が少し改善されたようです。いずれは早朝ウォーキングも続けていけたらというのが今年度の抱負になります（自転車通勤は夢のまた夢です）。しかし、上記の如く、ウォーキング中も道端の草花に見惚れてしまい、つまずいたりして肝心の運動にならないのではないかと危惧します（笑）。



言語聴覚士 **梅原 健**

皆様にとって2022年はどのような年でしたか？私の2022年と言えばサッカーワールドカップです。帰宅後、21時には就寝し、日本代表の試合をスマホで観戦しました。特に今回の日本代表は死のグループと言われており予選敗退が予想されていました。しかし、ドイツとスペインから歴史的な勝利を勝ち取り、1位で予選突破をし、今回こそベスト8まで進出できるのではないかと期待していました。結果は残酷なものでベスト8の壁は高くそびえ立っており、一步届きませんでした。感動をたくさんもらいました。次の年男は12年後になりますので、それまでに日本代表はベスト8の壁を越えることができるのか、今から胸を躍らせながら待ちたいと思います。



東6看護師 **梅村 愛理**

新年明けましておめでとうございます。今年は兎年、私は年女ということでこのような機会を頂きました。私は、三重中央医療センターに就職し、4月で3年目になります。私が勤務する東6病棟では脳神経外科・脳神経内科の混同病棟です。麻痺や構音障害といった症状の出現により戸惑いや不安を抱えている患者様が多く入院しています。リハビリスタッフと協力して患者様が望まれる退院後の生活に近づけるよう歩行訓練を実施しています。また、少しでも安心して入院生活を過ごしていけるよう患者様の不安に寄り添えるような声かけを日々意識して働いています。新型コロナウイルス感染症によりなかなか家族さんとの面会ができず、ストレスを感じている患者様が多いため、早期退院に向けてソーシャルワーカーさんと協力し退院調整を行っています。1年目の頃は仕事内容を覚えることで精一杯で、患者様に必要な看護がわからず、先輩方に相談していることがほとんどでした。今では少しずつ患者様に必要な看護がわかるようになり、先輩方と意見交換が実施できるようになりました。今年は3年目になるということで、自分のことで精一杯にならず他職種と協力していきながら必要な看護を提供していきたいと考えています。また、後輩から頼られるような先輩になれるよう努力していきたいと思っています。皆様にとって素晴らしい1年になりますよう心から願っております。

2022.10.1

災害訓練を行いました



循環器内科 新谷卓也

「30年以内には大地震が」と言われています。ノストラダムスの大予言ではなく、測地学という地球物理学の提言です。

2011年3月 東日本を襲った大震災から2週間ほど経った頃、私は医療派遣で岩手県釜石市を訪れました。文字通り、見渡す限り瓦礫の山で、建物の3階に漁船が突っこみ、其処彼処にお花が供えてありました。被災された方の心の痛みは

どれ程だろうと震えたことを思い出します。

日本は災害大国です。1995年の阪神・淡路大震災を経験した後より災害医療の必要性が叫ばれるようになりました。

同災害において、被災した地域ではとてつもない数の傷病者が出たものの、医療機関や医療従事者自身も被災しており、十分な医療を提供できませんでした。連絡ツールが途絶し情報は混乱を極め、規模の小さな病院に傷病者が殺到するなど、患者配分の不均衡から、救えるはずの命が多数失われたといえます。被災者やその家族の心傷もさることながら、目前の人を「救えなかった」という医療者の心の傷もまた深かったのです。

災害時の医療ノウハウは、同じ思いを繰り返さないようにと連なり重なり継承され、システム化してゆきました。医療資源を需要に合わせて再分配し、情報をまとめ共有するツールが確立されました。2005年の福知山線脱線事故では実際に瓦礫の下で医療が展開され、東日本大震災では災害チームがすぐに活動を開始し、ほとんどの要医療者を日本中の医療機関に分散搬送・収容しました。こうして「災害医学」が科学として大成していったのです。

津地区は、ほとんどの有床病院が海沿いに位置するため、震災の規模によっては沿岸部の傷病者のほとんどを津波被害のない当院で受け入れる必要があります。また津地区の10倍の被害が見込まれるとされる伊勢地区、南紀州地区などからも受け皿となる可能性があります。図らずも平成10年に移設された当院の立地条件は、災害時に非常に有利なものでありました。

去る2022年10月1日、当院では大規模災害時の活動訓練を行いました。この訓練は、内閣府が計画する全国規模の訓練に合わせて行われ、災害拠点病院として多数傷病者を受け入れ、また非被災地への搬送のハブとしての機能も担いました。多少の混乱はあったものの、多数の傷病者を受け入れ、診療方針を立てることができました。また概ね情報の共有は的確に行われ、災害拠点病院としての機能を充分果たすことができました。訓練を通じて新たな課題も見え、さらに充実した災害医療体制を構築してゆきたいと思っています。

「津波てんでんこ」という言葉は、古くから三陸地方に伝わる言葉。「家族や周囲を気にせず逃げよ」という教えですが、そこには「死ぬな。とにかく生きろ。そして後世に伝えよ。」という強烈なメッセージが込められているように思います。被災地に学び、歴史に学び、この地域の後世に必要な知識を残したいと考えています。



赴任された先生方

神経内科 有川 茂雄

2022年10月から三重中央医療センター脳神経内科に赴任いたしました有川茂雄と申します。三重大学出身、三重中央医療センターで初期研修後、三重大学付属病院、桑名医療センター、伊勢総合病院、伊勢赤十字病院で勤務し、当院へ戻ってまいりました。脳梗塞やてんかんなどの脳・神経疾患の診療を行っております。至らぬ点も多くあるかと思いますが、日々精進してまいります。何卒よろしくお願いたします。



消化器外科 大森 隆夫

2022年10月に消化器外科に赴任しました大森隆夫と申します。2006年に三重大学を卒業後、県外で麻酔救急の研修を経て2011年より松阪の病院で外科研修を開始し、その後は鈴鹿、尾鷲の病院での勤務を経て今回当院に着任いたしました。手術には患者様の不安がつきものですが、手術前後の説明を丁寧に行い安心して療養していただけるよう心がけています。皆様の健康のお役に立てるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いたします。



産科医師 榊原 洸太

2022年10月より産婦人科に赴任しました榊原洸太と申します。三重県志摩市の出身で、三重大学を卒業後に、三重大学病院や、岡山県にあります倉敷成人病センターで産婦人科医として研鑽を積んでおりました。三重中央医療センターは地域の周産期医療の拠点であるほか、婦人科手術にも積極的に取り組んでいる施設でございます。産婦人科チームの一翼を担い、地域の皆様のお役に立てるよう日々精進してまいります。どうぞよろしくお願申し上げます。



国病学会表彰者の紹介



消化器外科 水上 拓哉

「腸回転異常症 (non-rotation type) に発症した中腸軸捻転症の1例」というタイトルで発表し、ベストポスター賞をいただきました。腸回転異常症とは胎児の段階で腸が腹腔内の正常な位置に移動しない疾患で、時に捻転によって腹痛症状をきたし得る比較的稀な疾患です。ポスターが完成するまでに何度もブラッシュアップし、科内の先生方にも多くのアドバイスを頂きました。今回、受賞することができたのは周囲の方々のおかげだからこそだと思っております。今後とも、患者様により良い医療を提供できるよう日々研鑽していきたくと考えております。

薬剤部 朝居 祐貴

私は、「自発報告データベースと電子カルテデータの連携による抗真菌薬誘発性肝障害のリスク因子の探索」というタイトルで発表させていただきました。『抗真菌薬』とは、カビによって起きる感染症に対して使用するお薬です。カビのお薬の副作用として、ごく稀に肝臓にダメージを与えてしまう場合があります。そのため、私はカビのお薬を使用する前に、肝臓にダメージを受けやすい患者さんのリスク因子を探索しました。これにより、カビのお薬による副作用を未然に防ぐことができる・・・と考えたら素晴らしいことだと思いませんか？
これからも臨床薬剤師として、安全にお薬を使用できるように日々研鑽したいと思います。

薬剤部 八杉 美咲

今回「当院新生児科における訪問薬剤管理指導導入の現状」というテーマで発表し、ベストポスター賞をいただきました。新生児科退院後の赤ちゃんとその家族の生活のサポートのためには多職種での支援が必要です。当院新生児科では退院前に多職種が集まってカンファレンスを行い、退院後の支援を検討しています。その中に地域の薬局も参加しています。しかし、小児における薬局の在宅訪問は成人に比べて普及していない現状があります。これからの薬局が小児の在宅医療において活躍できるように、引き続き退院後のサポートを行っていきたくと思います。

第15回日本医療マネジメント学会学術集会報告

臨床研究部長 小川 昌宏

10月15日（土）に当院の研修棟にて、第15回日本医療マネジメント学会学術集会を開催いたしました。

「タスクシフトの取り組み」をテーマに、看護・薬剤・臨床工学・リハビリなど様々な分野の方々に日々の取り組みや工夫を発表いただきました。特別講演では、大阪から山中英治先生をお招きし「役割分担が救う日本の医療」をご講演いただきました。

近隣の医療施設で働く多職種の方々が集い、働き方改革とより良い医療の提供の両立を目指すこれからの向け、有意義な時間となりました。



「クローバー友の会」

会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は本会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久原明神町 2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくことに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別途ご案内いたします。特典は変わる場合があります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員名簿
住所 _____
氏名 _____
電話 _____

市民公開講座 開催報告

令和4年度 がん医療に関する市民公開講座 開催報告



がん診療部長 湯 浅 浩 行

2022年10月22日、三重中央医療センター・看護学校体育館において、「がん患者・家族を支える～私たちでできるサポート～」と題したがん医療に関する市民公開講座を開催させて頂きました。コロナ禍にも関わらず、会場には若い方からお年寄りの方々まで176名の方が来場して頂き、おかげさまで講演を盛況のうちに終えることが

できました。例年、アスト津で開催しておりましたが、コロナ禍で延期・延期の連続でありましたので、今回は当院看護学校体育館での3年ぶりの開催となりました。椅子の座りづらさやスライドの見えにくさ、声の聞こえづらさなど、いろいろと課題はありましたが、来場者の方のアンケート結果ではほとんどの方が「満足した」と回答して頂きまして、非常に安堵しております。今回は、がん患者様への当院でできるサポートということで、看護師、薬剤師、作業療法士、医療社会事業専門員、臨床心理士、医師の各部門に講師を依頼し、講演して頂きました。今までは胃癌や大腸癌といった内容で行っていましたが、今回のような多職種からの発表というのは初めての試みで、治療だけでなく、金銭的な問題や心理面や仕事の悩み対策、リハビリ療法や栄養療法の必要性など非常に興味深い内容になっていたかと思います。患者様本人や家族の方が、がんになった時に当院ではいつでもこのようなサポートが出来ますので、必要な方は患者相談窓口までご相談下さい。なお時間の都合上、来場者の方の質問時間は割愛させて頂きましたが、アンケートの際に頂いた質問の回答につきましては、今後ホームページ上に反映されますので、そちらで御確認下さい。

令和4年度のがん医療に関する市民公開講座は今回で終了ですが、今後も市民の皆様に関心が高い疾病やその予防法等に関する市民公開講座を開催し、市民の健康増進や疾病予防に寄与するとともに、当院をより身近に感じていただける機会にしていきたいと考えております。今後とも宜しく願い申し上げます。ご参加いただいた皆様、講師の方々、ありがとうございました。



—がん治療について—



肺がんの治療について

呼吸器内科医長 内藤 雅大

こんにちは。呼吸器内科の内藤です。2015年2月から三重中央医療センター呼吸器内科に赴任し、肺がんの診療をさせていただいています。

当科の診療ですが、肺がん以外に気管支喘息・COPD（慢性閉塞性肺疾患）・間質性肺炎を中心とする免疫・アレルギー疾患、さらに結核・肺炎などの呼吸器感染症に対応しております。肺がんの特化せず幅広い分野を診療することで、多角的な広い視野で肺がん診療をすることができます。それが当科の強みです。

国立がん研究センターの統計によりますと、肺がんは国内がん死亡数1位（2021年）・罹患数2位（2019年）となっており、その診療の重要度は年々高まっています。

肺がんの治療は、外科治療・放射線療法・薬物療法があります。外科治療は、肺がんを手術で切除する方法です。また放射線療法は、放射線の細胞損傷作用を利用してがん細胞を死滅させる治療法です。当科では薬物療法が担当になりますが、その進歩は著しく現在は抗がん剤（細胞障害性抗がん薬）・分子標的治療薬・免疫チェックポイント阻害薬に分けられ三本柱となっています。残念ながら現時点では薬物療法のみで肺がんを完治させることはできませんが、肺がんを縮小させたり、その進行を抑えたりする効果が期待されます。薬の選択は、科内のカンファレンスで協議し決定しています。

どの治療を選択するかは、組織診断（顕微鏡で見るがんの顔つき）、病期（がんの進み具合）、身体状況（患者さんの元気さ）、患者さんご自身の希望で決まります。方針の決定には、呼吸器内科医だけでなく呼吸器外科医、病理医、放射線治療医の先生方と相談させていただいています。さまざまな診療科と密なコミュニケーションをとることで互いの意見を吸収することができ、それが充実した肺がん治療につながります。

肺がんの治療には、現場から得た経験とエビデンス（科学的な根拠）が大切です。当科では経験とエビデンスのどちらかに偏ることなく、一人一人の患者さんに応じたベストな診療をさせていただきます。常に「まず患者さん（人）をみる」ことを心がけています。もし何かありましたら気軽にご相談ください。

今後とも肺がん患者さんの診療に少しでも貢献できますように、一層の努力をしてまいります。どうかよろしく願いいたします。

がん相談支援室 制度案内

限度額適用認定証(70歳未満)について

医療機関等での窓口のお支払いが高額になる場合限度額認定証を医療機関等の窓口へ提示すると窓口でのお支払いが自己負担限度額までとなり原則、高額療養費（医療費の払い戻し）の申請が不要になります。

限度額適用認定証の取得方法

患者さんの同意があれば準備不要の場合があります。

国民健康保険	市役所で申請用紙に記入提出すると、その場で発行されます。
健康保険組合	会社の健康保険組合にお問い合わせの上、申請をしてください。
全国健康保険協会 (協会けんぽ)	全国健康保険協会各支部に申請するか申請用紙を郵送すると、限度額適用認定証が送られてきます。申請用紙は全国健康保険協会ホームページからダウンロードできます。

申請用紙は当院でもご準備できます。

70歳未満の方

区分	1ヶ月の自己負担限度額	多数該当
区分ア 健保：標準報酬月額83万円以上 国保：年間所得901万円超	252,600円 + (総医療費 - 842,000) × 1%	140,100円
区分イ 健保：標準報酬月額53～79万円 国保：年間所得600～901万円	167,400円 + (総医療費 - 558,000) × 1%	93,000円
区分ウ 健保：標準報酬月額28～50万円 国保：年間所得210～600万円	80,100円 + (総医療費 - 267,000) × 1%	44,400円
区分エ 健保：標準報酬月額26万円以下 国保：年間所得210万円以下	57,600円	44,400円
区分オ 住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※食事代や差額のお部屋代、文書代など保険適用外の費用は対象になりません。
※月別、医療機関別、入院と外来、歯科は別で計算します。

多数該当：高額療養費の支給回数が過去1年間で4ヶ月以上になる場合、4回目以降は自己負担限度額が軽減されます。

がん治療を行う上で検査や入院、外来でも高額なお薬の治療を続ける場合、医療費がどれくらいかかるか分からず支払いができるのか不安になることがあります。

医療費のこと、お仕事のことなど一緒に整理しながら考えさせていただきます。

分からないことがありましたら1階0番窓口の患者支援センターまでお気軽にご相談ください。

患者支援センター ご利用方法

- 開室時間 8:30～17:00
(平日の月曜日～金曜日)
- 予約優先です。相談室窓口でもご予約いただけます。
- **ご入院中の場合は病棟看護師へお申し出ください。**
- 外来時は主治医へお申し出ください。
- 医療安全に関するご相談もお受けいたします。



- 日常生活でご不安なこと・困っていること
- 医師からの説明等ご不明なことについて

中村めぐみ

がん相談支援
看護師



- こころの悩み
- 不安・心配ごとなどの相談

臨床心理士



- 医療費や生活費などの経済的問題に関する相談
- 社会制度、社会保険制度等紹介・利用相談

医療福祉
ソーシャルワーカー



- 退院後の生活でご不安なこと困っていること
- 退院先の相談・調整について

退院調整
看護師





「里山こころの便りー柵原の窓から」

ギャンブルの問題について

今回はギャンブル問題についてお伝えします。令和2年2月にもこのテーマでお話をしたことがあります。最近パチンコやポートレース場といった現場に行ってギャンブルをする人は減っているようですが、インターネットを使ってギャンブルをする人が増え、掛ける金額が多くなっているようです。クレジットカードなどキャッシュレスでギャンブルを行うと、現金を使わないためにお金を失うという（増えることもあるかもしれませんが）リアリティがないことや、自宅にいながらクリック一つで参加できる手軽さもあって、金額が増えているものと思われます。

ギャンブルの問題として、掛け金を増やして興奮を得ようとする、ギャンブルを止めることができない、止めると落ち着かなくなる、イラつく、ギャンブルのことでばかり考えてしまう、失ったお金を取り戻そうとする、ギャンブルを隠そうと嘘をついてしまう、人間関係がおかしくなる、借金をしてしまう…ことが言われています。簡便な自己診断ツールとして、LOSTがあります。LOSTとは、Limitless（ギャンブルするとき、時間や予算の制限を決めない、決めても守れない）、Once again（ギャンブルに勝つと次のギャンブルに使おうとする）、Secret（ギャンブルしたことを隠す）、Take money back（負けるとすぐに取り替えたいと思う）、の頭文字です。この4つの項目のうち、2つ以上に該当すると、ギャンブル依存症の危険性が高いと考えられます。

ギャンブルのことで本人や家族が困る場合、適切な支援が必要となることがあります。当院ではギャンブル問題に対して診察や面接などによる治療を行い、回復の支援をしています。

令和5年の1月28日（土曜日）に、オンラインにて13時30分から市民公開講座「ギャンブル依存症×借金問題」を開催いたします。Webexのミーティング番号2519 824 7277、パスワード i4XMUj5xRX4 を入力いただくと、誰でも参加できます。参加は無料ですので、気になる方はぜひご参加ください。



村田昌彦

柵原病院
院長



**ウインター
コンサート**

2022年12月9日（金）当院1Fホールで三重中央看護学校の学生主導によるウインターコンサートを行いました。コロナ禍での開催ではありましたが、学生の頑張りもあり今年を締めくくりに相応しい、素晴らしい催しになりました。

新たな年がスタートしました。今年も宜しく願い申し上げます。

皆さんは「かくれ脱水」をご存じでしょうか。冬は夏に比べて空気が乾燥し、湿度が下がるため身体から水分が奪われやすくなります。特にマスクをずっと付けていると、水分不足に気づいていないこともあります。身体の水分不足は口や鼻の粘膜の働きを低下させ免疫力の低下にもつながります。こまめな水分補給を心がけてコロナやインフルエンザに負けない快適な冬生活を送りましょう。

（明）

発行所

三重中央医療センター

院長 下村 誠

三重県津市久居明神町2158番地5

TEL. 059-259-1211

<http://www.miechuo-hosp.jp/>

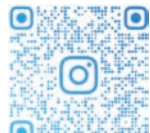


Instagram

三重中央医療センター

インスタはじめました

病院イベント、スタッフの日常、医学情報の日常などを発信します(^@^)



三重中央医療センター【公式】
アカウント：miechuomc

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●

天 野 医 院



当院は、医科歯科併設の診療所で、平成9年10月に久居中学校の東側で開業しました。一階が胃腸科、外科、内科、肛門科を標榜する診療所、二階が歯科診療所となっています。一般診療を行うと共に、市の特定健診やがん検診にも協力させていただいており、また午前と午後の診療時間の間を利用して、訪問診療も行っております。

三重中央医療センターの先生方には専門的診療や検査あるいは緊急を要する患者様を多数引き受けていただいておりますが、当院は今後も、三重中央医療セン

ターをはじめとする、この地区の病院や診療所の先生方と連携を密にし、微力ながら地域医療に貢献していきたいと考えております。

院 長：天野 一之
 歯科医師：天野 昌子
 住 所：〒514-1311 津市久居西鷹跡町475-3
 電 話：(1F)059-259-2001 (2F)059-259-2002
 F A X：059-259-2003
 診療科目：胃腸科・外科・内科・肛門科・歯科・矯正歯科
 休 診 日：(1F)木曜午後、土曜午後、日曜、祝祭日
 (2F)木曜、日曜、祝祭日

(1F) 胃腸科、外科、内科、肛門科

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	△
15:30～19:00	○	○	○	△	○	△	△

(2F) 歯科、矯正歯科 (要予約)

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	△	○	○	△
14:00～17:30	○	○	○	△	○	△	△

△土曜は17:00まで

中 川 歯 科



当院は前院長の父が昭和29年に開業して以来68年間、地域の方々と共に歩んで参りました。平成28年には全面改装を行い最新の医療機器や感染予防機器を導入し、コロナ禍でも安心して治療を受けて頂けるよう日々努力しております。16年間の口腔外科勤務の経験を活かし、一般歯科診療ならびに障害者歯科治療や難抜歯など小手術も行っています。三重中央医療センター歯科

口腔外科の先生方とは勤務医時代の縁もあり、緊密に連携が取れています。

う蝕や歯周病は様々な全身疾患や障害と密接に関連しているため、定期的な歯のクリーニングとフッ素塗布、毎日の効果的なブラッシングやセルフケアによる予防が必要不可欠です。私と当院の歯科衛生士が皆様のお口から始まる全身の健康をサポートさせていただきます。

院 長：中川 俊幸
 住 所：〒514-1118 津市久居新町766-20
 電 話：059-255-2648 FAX：059-255-2729
 診療科目：歯科・小児歯科・歯科口腔外科
 休 診 日：木曜日、日曜日、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:30	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	○	△

まつしまクリニック



当院は桜ヶ丘団地の入り口（出口？）に開院して27年目になります。

現在、当院の敷地を削るように（実際に削られました）中勢バイパス建設工事が進行中です。

胃腸科、一般内科の患者さんが中心で、西洋薬だけ

でなく漢方薬も用いて、一人一人に合った治療を心がけています。診断に迷う患者さんや専門医の診察が必要と思われる患者さんは三重中央医療センターへ紹介させて頂いています。これからも宜しくお願ひいたします。

院長：松嶋 一晃
 住所：〒514-1112 津市久居小野辺町1763-5
 電話：059-255-8600 FAX：059-255-8602
 診療科目：内科・外科・その他（胃腸科・肛門科）
 休診日：日曜、祝日、木曜午後、土曜午後

診療受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:30～19:00	○	○	○	△	○	△	△

大西内科ハートクリニック



近鉄南が丘駅から徒歩5分にあります。健康診断から、高血圧、糖尿病のような心臓血管病の原因になる病気や、狭心症、心筋梗塞、不整脈、心不全などの循環器疾患を中心に診察しています。また、消化器内科専門医、乳腺外科専門医の先生に来ていただき、早期

発見のための専門外来も行っております。三重中央医療センターと密に連絡を取って、皆様に安心を提供しております。

院長：大西 勝也
 住所：〒514-0823 三重県津市半田3431-5
 電話：059-225-2597・059-225-3033
 059-253-6251（予約専門）
 診療科目：内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科
 休診日：日曜、祝日、木曜午後、土曜午後

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30～13:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△



外来診療担当表

●初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30~11:00までです。
●医師の人事異動・出張等により臨時に代診(林診)となる場合があります。

2023.1.1 現在

診療科名等		月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)	1診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	田中 淳子【循】	田中 剛史【糖】	後藤 浩之【糖】	
	2診	北出 卓【消】	福岡 秀介【循】	田口 由紀子【消】	川崎 敦【循】	岡崎 貴大【循】	
	3診	新谷 卓也【循】	倉田 一成【消】	坂倉 康正【呼】	渡邊 典子【消】	葛原 正樹【消】	
	4診	内藤 雅大【呼】	宗吉 佑樹【糖】	井田 紗矢香【糖】	西村 正【呼】	岩中 宗一【呼】	
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器内科	5診 6診 (整形1診) (内科5診)	井端 英憲 藤本 源	井端 英憲	井端 英憲(午後再診) 大本 恭裕	大本 恭裕	
	循環器内科	5診	田中 淳子	川崎 敦	岡崎 貴大(午前再診)	福岡 秀介	
	消化器内科	7診	葛原 正樹	北出 卓	渡邊 典子	田口 由紀子	倉田 一成
	内科	8診	岡崎 貴大【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	井田 紗矢香【糖】	新谷 卓也【循】
		9診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	井田 紗矢香【糖】	田中 剛史【糖】
		10診	坂倉 康正【呼】	内藤 雅大【呼】	内藤 雅大【呼】	奥田 昌也(1,3週) 田中 崇(2,4,5週)【糖】	岡野 智仁【呼】
	(泌尿器1診) (整形2診)	宗吉 佑樹【糖】	西村 正【呼】				
	腎臓内科(内科6診)	村田 智博					
	肝臓内科(内科5診) (整形3診)			吉川 恭子(1,3週)【消】			
	ペースメーカーチェック (14ブロック)	ペースメーカーチェック (毎月第1月曜日午後)			吉川 恭子【消】	ペースメーカーチェック (毎月第1月曜日午前)	
脳神経内科	1診	北川 長生	北川 長生	北川 長生	有川 茂雄	林 理絵	
	2診	大内 智洋	有川 茂雄	林 理絵	大内 智洋	吉丸 公子	
小児科・新生児科 (初診・再来初診は紹介のみ) (初診以外は完全予約制)	午前	1診	井戸 正流(初診)	櫻井 直人(初診)	井戸 正流(初診)	田中 滋己	田中 滋己(初診)
		2診	小川 昌宏	小川 昌宏	内菌 広匡(1,3,5週) 北村 創矢(2,4週)	内菌 広匡	大槻 祥一郎
		3診	田中 滋己	親子支援	大森 あゆ美	小川 昌宏	小川 昌宏
		4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子	
	午後	1診	小児外科医師	2週間・1ヶ月健診	内菌 広匡	田中 滋己(1,3,5週) 櫻井 直人(2,4週)	大森 あゆ美(1,3,5週) 佐々木 直哉(2,4週)
2診		小児神経外来 内菌 広匡(2,4,5週)		佐々木 直哉(1,3,5週)	内菌 広匡(1,3,5週)	成長外来	
	3診	小川 昌宏(1,3週)	NICU連携 心エコー外来(1,3週)	小川 昌宏		シナジス外来	
	4診(発達外来)	杉野 典子		杉野 典子	杉野 典子		
消化器外科	1診(初診)	湯浅 浩行	消化器外科医師	大森 隆夫	信岡 祐	林 泰三	
	2診(予約)	信岡 祐	下村 誠	水上 拓哉	林 麻未	湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)							
乳腺外科(予約のみ)	外科2診					石飛 真人	
整形外科 (予約・紹介のみ)	1診	田中 雅		高北 久嗣		田中 雅	
	2診	高北 久嗣		山口 敏郎		山口 敏郎	
	3診	今野 千尋		今野 千尋			
形成外科	呼外1診	三重大学医師		石浦 良平 (最終週は三重大学医師)			
脳神経外科	1診(初診) 2診(予約)	石田 藤麿	山本 陽子 石田 藤麿	池澤 宗成	田中 克浩 池澤 宗成	山本 陽子 田中 克浩	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)	整形3診					西川 拓文	
呼吸器外科	1診		安達 勝利/渡邊 文亮		渡邊 文亮	安達 勝利	
心臓血管外科		浦田 康久		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(初診は紹介状のみ・完全予約制)		中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	三重大学医師	中西 朝子	
泌尿器科	1診		長谷川 嘉弘(初診)	加藤 雅史(初診)	長谷川 嘉弘(初診)	長谷川 嘉弘	
	2診		荒瀬 栄樹		荒瀬 栄樹	荒瀬 栄樹(初診)	
	整形3診(火曜日) 整形1診(木曜日)		筏井 亮太		筏井 亮太		
産科・婦人科	午前	1診(初診)	北村 亜紗	前川 有香	張 凌雲	榊原 光太(1,3,5週) 横山 由佳(2,4週)	奥村 亜純
		2診(婦人科再診)	横山 由佳	榊原 光太	柏原 優花	前川 有香	柏原 優花
		3診(産科再診)	張 凌雲		吉村 公一	吉村 公一	
		4診(助産師外来)		毎日、完全予約制(担当は交代制)			
	午後	1診(産科再診)	北村 亜紗	前川 有香	張 凌雲	榊原 光太(1,3,5週) 横山 由佳(2,4週)	奥村 亜純
2診(婦人科再診)		横山 由佳	榊原 光太	柏原 優花	前川 有香	柏原 優花	
	3診	張 凌雲	産後一ヶ月健診	吉村 公一	吉村 公一		
	4診		毎日、完全予約制(担当は交代制)				
眼	科	三羽 晃平	三羽 晃平	三羽 晃平	三重大学医師	三羽 晃平	
耳鼻咽喉科	午前(初診) (火・金は紹介のみ)		西田 幸平	伊藤 由紀子	西田 幸平	西田 幸平	
	午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子	伊藤 由紀子	伊藤 由紀子(2,4,5週)	伊藤 由紀子	
	午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来				
放射線科(画像診断)							
放射線治療 (事前予約のみ)	午前	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	奥田 康之/初瀬 耕	
	午後	笹岡 政宏	二見 友幸	笹岡 政宏	二見 友幸		
歯科・歯科口腔外科 (金曜日は再診のみ)	午前	柳瀬 成章/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	柳瀬 成章/加納 慶子	柳瀬 成章/加納 慶子	福原 大樹	
	午後	柳瀬 成章/加納 慶子	柳瀬 成章/三重大学歯科	柳瀬 成章/加納 慶子	若林 宏紀/加納 慶子	柳瀬 成章/若林 宏紀	
看護外来(予約のみ)							
		第1月曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	第2,3火曜日 透析予防外来 がん看護相談外来	糖尿病外来 がん看護相談外来	ストーマ外来 がん看護相談外来	フットケア外来 がん看護相談外来	

不整脈専門外来	形成外科外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	未破裂脳動脈瘤の相談
月・火曜日 午前診療	水曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・木・金曜日 午前診療	金曜日	月曜日 午後診療
循環器内科(新谷)	形成外科(石浦)	呼吸器内科	呼吸器内科	脳神経内科(吉丸)	脳神経外科(石田)
脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・臍胸	中耳外来(予約)	助産師外来	おっぱい外来(予約)	乳腺外科(予約)
金曜日(10時~12時30分) (要予約・紹介)	火・木・金曜日 午前診療	火曜日 午後診療	月・水・木・金曜日 午前午後診療 火曜日 午前診療	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療
脊椎・脊髄外科(西川)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科	産科	乳腺外科(石飛)